



2025年度
名城大学大学院

入学試験要項

経営学研究科

MEIJO UNIVERSITY

名城大学大学院組織

修士（博士前期）課程

法学研究科	—	法律学専攻
経営学研究科	—	経営学専攻
経済学研究科	—	経済学専攻
人間学研究科	—	人間学専攻
都市情報学研究科	—	都市情報学専攻
理工学研究科	—	数学専攻
	—	情報工学専攻
	—	電気電子工学専攻
	—	材料機能工学専攻
	—	応用化学専攻
	—	機械工学専攻
	—	交通機械工学専攻
	—	メカトロニクス工学専攻
	—	社会基盤デザイン工学専攻
	—	環境創造工学専攻
	—	建築学専攻
農学研究科	—	農学専攻
総合学術研究科	—	総合学術専攻

博士（博士後期）課程

法学研究科	—	法律学専攻
経営学研究科	—	経営学専攻
経済学研究科	—	経済学専攻
都市情報学研究科	—	都市情報学専攻
理工学研究科	—	数学専攻
	—	電気・情報・材料・物質工学専攻
	—	機械工学専攻
	—	社会環境デザイン工学専攻
農学研究科	—	農学専攻
総合学術研究科	—	総合学術専攻

博士課程

薬学研究科	—	薬学専攻〔4年制〕
-------	---	-----------

目 次

経営学研究科	1
修士課程	4
博士後期課程	8
入学志願票 注意事項	
入学志願票の記入例と注意事項	11
学 費	16
「長期履修学生制度」について《社会人対象》	18
共 通 事 項	21
受験時の注意	22
身体に障がいのある志願者の方へ	22
奨学生制度	23
綴込用紙	
長期履修学生制度申請書	

経営学研究科

経営学研究科は、21世紀のグローバル化社会における営利・非営利組織体の運営に係る実践的理論を追求し、問題解決能力を有する研究職・専門職人材及び高度専門職人材の養成を目的とする。

修士課程

01 学位授与方針

Diploma Policy

経営学研究科経営学専攻修士課程は、本学立学の精神のもとで、本研究科が養成すべき人材と定めた「21世紀のグローバル化社会における営利・非営利組織体の運営に係る実践的理論を追求し、問題解決能力を有する研究職・専門職人材及び高度専門職人材」に照らし、次の資質・能力を身につけた学生に修士（経営学）の学位を授与します。

- ① 経営学研究者として、企業現場で発生する諸課題の解決に取り組む職業人として、あるいは、税理士・会計士等の高度職業会計人として、活躍するために必要とされる専門知識を修得し、高い倫理観と学術的見地から、創造的な研究に基づいて社会・企業現場における諸問題の本質を掴み、課題を自ら設定することができる。そして、課題解決にむけて先行研究の検討やエビデンスに基づく綿密で公正な考察ができる。
- ② 「経営学・ものづくりシステムコース」または「会計学・ファイナンスコース」において修得した知識と実践的研究能力に基づき、グローバル化・情報化の進展によって複雑化する経営に対して、組織人として、経営システムを専門的かつ全体的視野から設計・改善することができる。また、高度な会計的・財務的専門能力を有する者として、会計・ファイナンス行動の意味を十分に理解し、適切な会計処理と会計・財務システムの設計・改善ができる。あるいは、研究者として、営利・非営利組織体の運営に係わる諸課題について、理論的・技法的な能力の習得に基づいて高度な研究活動を自立的におこなうことができる。
- ③ 企業人として、職業人として、組織や社会において発生する諸課題に日々直面し、解決していかなければならない。解決策の実行は結果をもたらすし、社会や組織に関する理解、課題の理解、解決策の有効性について、多面的・総体的に評価・検証していかなければならない。組織や社会の構成員として、役割を遂行してゆくためには「学び」によって責任分担の職務遂行能力の継続的な向上とともに、協働者と「学び」の成果を分かち合い、全体としての課題解決能力を向上していかなければならない。こうしたことを理解し、自ら「学び」、「学び」の成果を分かち合うことができる。

02 教育課程編成方針

Curriculum Policy

経営学研究科経営学専攻修士課程は、本研究科の教育目標を達成し、学位授与方針に示す資質・能力を身につけさせるため、コース制をとり、「経営学・ものづくりシステムコース」及び「会計学・ファイナンスコース」を設定しています。専門性を体系的に深めることをねらいとして設定された2つのコースは、ともにコースワークとリサーチワークを適切に配置し、次のような方針で教育課程を編成し、実施します。

- ① コースワークでは、「経営学・ものづくりシステムコース」では、基礎的な理論や手法の習得とともに、グローバル化・情報化の進展に対応する現代的・総合的カリキュラムとなっており、「会計学・ファイナンスコース」では、グローバル化・情報化の進展のもとで、高度化するファイナンス分野の理論的・実践的能力を有する人材や、高度職業会計人の育成をめざしたカリキュラムとなっている。2つのコースともに、講義・演習等を適切に組み合わせ、専門分野に関する深い学識、専門分野に隣接する学識等を修得させ、あわせて、他のコースで開講される科目の履修を可能にすることによって多様な分野の知見を獲得させ、専門分野を超えた企業・組織体の全体像からの視野に立ち、更なる専門分野の理解・学識を深めることができるようにする。また、入学時において決定される指導教員のもとで、先行研究・資料の収集、文献・資料の読解力、論理的思考力、創造的な論理構築力、高い倫理観等を身につけるため、研究指導科目が開講されている。指導教員は、指導学生の研究テーマ・問題意識等に照らし、科目履修の指導をおこなう。他方、第一線で活動する企業人や実務家としてのキャリアを有する講師による科目が開講され、実務現場で知識・理論やスキルを適用できるようにする。
- ② リサーチワークでは、入学時に研究指導教員が決定され、研究指導科目において、2年間一貫して修士論文作成の指導を受ける。この過程で、研究活動に必要な姿勢、方法、論理的思考・構築力、高い倫理性等を身につけさせ、また、自己の研究が持っている社会的意味、社会的貢献の内容等を深く認識させ、社会における「知」の在り方に対する見識に基礎付けた実践的研究を可能とする能力を習得させ、これによって問題解決のために活かすことができるようにする。
- ③ 少人数・双方向の授業体制を採り、講義科目においても、教員による一方的な講義ではなく、受講生の発言を促し、受講生の間でのディスカッションを含めて、議論を講義の中に取り入れている。こうした議論による実践を通して、多様な考え方の受容、議論における論点の整理の仕方等を能動的、主体的参加によって習得していくことができるようにする。また、修士論文の作成を控えている2年生を対象とする修士論文報告会に参加し、指導教員以外の教員・学生とのディスカッションによっても、多様な考え方への受容、議論における論点の整理の仕方等を能動的、主体的参加によって習得していくことができるようにする。こうしたことを通して、生涯にわたって、他者との意見交換によって主体的な学びや、相互理解ができるようにする。
- ④ 学修成果に対する成績評価と単位認定については、シラバスにおいて示した成績評価方法及び評価基準に準拠して厳格に行う。学位論文については、研究科委員会によって選出された審査委員によって、《学位論文審査基準》に基づき審査された後、審査結果が研究科委員会に報告され、研究科委員会によって厳格に評価される。また、学生の将来設計や問題関心にしたがって、学生とよく話し合い、学生の達成度を考慮に入れながら、主体的な学びが促進されるようにする。

03 入学者受入れ方針

Admission Policy

経営学研究科経営学専攻修士課程は、本研究科の人材養成目的、教育目標・内容を理解し、学部または大学院の教育課程等における学修を通して、次のような資質・能力を身につけている人を受け入れます。

- ① 経営学あるいは会計学・ファイナンスに関する、学修の基礎となる基礎学力及び専門分野における基礎的な知識を修得している。
- ② 入学を希望する者は、組織経営の原理や経営課題の解明と、課題解決に挑戦する熱意、自己実現の手段として起業などを志すフロンティア精神、あるいは、経営プロセスを重視できる会計人になりたいという意欲と目的意識がある。
- ③ 大学院在学中だけでなく、修了後も、経営学研究者として、企業現場で発生する諸課題の解決に取り組む職業人として、あるいは、税理士・会計士等の高度職業会計人として学び続ける意欲がある。

博士後期課程

01 学位授与方針

Diploma Policy

経営学研究科経営学専攻博士後期課程は、本学立学の精神のもとで、本研究科が養成すべき人材と定めた「21世紀のグローバル化社会における営利・非営利組織体の運営に係る実践的理論を追求し、問題解決能力を有する研究職・専門職人材及び高度専門職人材」に照らし、次の資質・能力を身につけた学生に博士（経営学）の学位を授与します。

- ① 経営学の特定の分野において専門知識を修得し、高い倫理観と学術的見地から、先行研究の批判的検討・評価やエビデンスに基づく綿密で公正な考察に基づいて、オリジナリティのある研究成果を生み出すことができる能力を身につけ、物事の公正な判断をすることができる。
- ② 経営学研究者として、企業現場で活躍する職業人として、あるいは、税理士・会計士等の高度職業会計人として、その専門能力や見識を、それぞれの職責において直面する諸課題の解決に活用することができ、社会や組織の発展に貢献することができる。
- ③ 社会・組織の構成員であることを自覚し、各自が自主的・自立的に探究心をもって「学び」、その成果を分かち合うことが社会を豊かにするとともに、自分自身を豊かにするということを理解し、成果を分かち合うことができる。

02 教育課程編成方針

Curriculum Policy

経営学研究科経営学専攻博士後期課程は、本研究科の教育目標を達成し、学位授与方針に示す資質・能力を身につけさせるため、コースワークとリサーチワークを適切に配置し、次のような方針で教育課程を編成し、実施します。

- ① コースワークでは、講義・演習等を適切に組み合わせ、専門分野に関する深い学識、専門分野の研究を深めるために必要となる知識・スキル等を修得させる。このために、経営学、会計学、経営財務論の各分野における講義科目によって研究科が組織的に支援する。また、入学時において決定される指導教員の指導のもとで、先行研究・資料の収集・批判的検討・評価、論理的思考力、創造的な論理構築力、高い倫理観等を身につけるため、研究指導科目が開講される。必要に応じて、研究指導科目は指導教員に複数担当者が加わる集団指導体制によって実施される。指導教員は、指導学生の研究テーマ・問題意識等に照らし、科目履修の指導をおこなう。
- ② リサーチワークでは、指導教員による研究指導とともに、必要に応じて、集団指導体制をとる。こうした指導体制によって、3年間で研究成果を論理的にまとめることができるようにし、学会・研究会での研究発表や1編以上の査読付き論文の作成ができるようにする。また、博士論文作成に関しても、本研究科博士後期課程所属全教員によるワークショップを開き、研究科総体として支援する体制をとり、質の高い研究論文が作成できるようにする。
- ③ 講義科目及び研究指導科目の全科目において少人数・双方向の授業体制をとり、能動的学修が実施される。学生による発表、質疑応答を含め、議論による実践を通して、多様な考え方の主体的能動的な受容、議論における論点の整理の仕方等を習得していくことができるようにする。また、学会・研究会に参加し、指導教員以外の教員・学生とのディスカッションに参加することによっても、多様な考え方の受容、議論における論点の整理の仕方等を能動的・主体的に習得していくことができるようにする。こうしたことを通して、生涯にわたって、他者との意見交換による主体的な学びや、相互理解ができるようにする。
- ④ 学修成果に対する成績評価と単位認定については、シラバスにおいて示した成績評価方法及び評価基準に準拠して厳格に行う。学位論文については、研究科委員会によって選出された審査委員によって《学位論文審査基準》に基づき予備審査をおこない、研究科委員会によって審査結果が承認された後、本審査に入る。公聴会の開催を含め、審査委員による審査結果が研究科委員会に報告され、研究科委員会によって厳格に審議される。また、学生の将来設計や問題関心にしたがって、学生とよく話し合い、学生の達成度を考慮に入れながら、主体的な学びが促進されるようにする。

03 入学者受入れ方針

Admission Policy

経営学研究科経営学専攻博士後期課程は、本研究科の人材養成目的、教育目標・内容を理解し、大学院の教育課程等における学修を通して、次のような資質・能力を身につけている人を受け入れます。

- ① 経営学、会計学あるいは経営財務に関する、学修の基礎となる基礎学力及び専門分野における基礎的な知識を修得している。
- ② 入学を希望する者は、現実への高く深い関心と旺盛な探究心をもち、企業・経営の未解決課題に取り組む意欲、経営学分野の未解決課題に取り組み、新たな理論的地平を切り開こうとする意欲を持つ者。
- ③ 大学院在学中だけでなく、修了後も、経営学研究者として、企業現場で発生する諸課題の解決に取り組む職業人として、あるいは、税理士・会計士等の高度職業会計人として学び続ける意欲がある。

修士課程授業科目

<経営学・ものづくりシステムコース>

経営管理研究	実践マネジメントシステム設計
労務管理研究	グローバル経営戦略研究
情報産業組織研究	人材開発マネジメント研究
経営組織研究	ベンチャー起業論研究
国際経営研究	マーケティング戦略研究
経営史研究	NPO起業研究
国際産業集積研究	実践コスト・マネジメント研究
経営戦略研究	海外企業移転研究
コーポレート・ガバナンス研究	実践起業研究
マーケティング研究	アジア企業研究
流通研究	ヨーロッパ企業研究
マーケティング情報システム研究	労使関係研究
研究開発マネジメント研究	企業内教育研究
生産技術研究	労務監査研究
実践品質管理研究	経営情報システム研究
実践情報システム設計	環境マネジメント研究
実践生産システム設計	経営学外国文献研究
プロセス・マネジメント研究	経営学研究指導Ⅰ・Ⅱ

<会計学・ファイナンスコース>

財務会計研究	税務会計研究
制度会計研究	環境会計研究
会計監査研究	非営利組織体会計研究
管理会計研究	コーポレート・ファイナンス研究
コスト・マネジメント研究	インベストメント・マネジメント研究
国際会計研究	金融システム研究
経営分析研究	金融機関経営研究
実践経営分析研究	会計学・ファイナンス外国文献研究
知的財産研究	会計学・ファイナンス研究指導Ⅰ・Ⅱ

<共通>

- 経営学特別講義Ⅰ（考える方法を考える）
- 経営学特別講義Ⅱ（企業フィールドワーク）

博士後期課程授業科目

経営学研究指導Ⅰ～Ⅲ	経営学特殊研究Ⅰ～Ⅶ
会計学研究指導Ⅰ～Ⅲ	会計学特殊研究Ⅰ～Ⅶ
経営財務論研究指導Ⅰ～Ⅲ	経営財務論特殊研究Ⅰ～Ⅶ
学位論文ワークショップ	

経営学研究科 修士課程

1 募集人員

研究科	専攻	募集人員
経営学研究科	経営学専攻	10名

※募集人員は特別選考・一般・外国人・社会人入学試験を通しての合計数です。

2 募集専攻・専修分野（専修科目）

研究科	専攻	専修分野（専修科目）
経営学研究科	経営学専攻	<p>〈経営学・ものづくりシステムコース〉 労務管理研究、国際産業集積研究、経営戦略研究、コーポレート・ガバナンス研究、マーケティング研究、実践情報システム設計、アジア企業研究、ヨーロッパ企業研究、労使関係研究、経営情報システム研究、環境マネジメント研究、人材開発マネジメント研究、マーケティング戦略研究</p> <p>〈会計学・ファイナンスコース〉 財務会計研究、制度会計研究、管理会計研究、コスト・マネジメント研究、国際会計研究、環境会計研究、非営利組織体会計研究、コーポレート・ファイナンス研究、インベストメント・マネジメント研究、金融システム研究、金融機関経営研究</p>

※指導教員との事前面談は必須ではありませんが、名城大学のホームページ（以下リンク参照）から、教員の専門分野および教員情報を確認の上、専修分野（専修科目）を選択してください。 https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_business/educator.html

3 募集日程一覧

試験区分	出願資格確認期間（締切日必着）		出願期間（締切日必着）	試験日	合格発表	手続締切日（締切日必着）	
	海外の大学出身者※1	社会人					
一般	一次	2024年 7月2日（火） ～ 7月9日（火）	/	2024年 8月19日（月） ～ 8月26日（月）	2024年 9月14日（土） 予備日：9月15日（日）※2	2024年 9月26日（木）	【一次手続】 2024年 12月5日（木） 【最終手続】 2025年 3月13日（木）
	二次	2024年 11月12日（火） ～ 11月19日（火）		2025年 1月6日（月） ～ 1月14日（火）	2025年 1月25日（土）	2025年 2月6日（木）	【一次手続】 2025年 2月13日（木） 【最終手続】 2025年 3月13日（木）
外国人 社会人	一次	2024年 7月2日（火） ～ 7月9日（火）	/	2024年 8月19日（月） ～ 8月26日（月）	2024年 9月14日（土） 予備日：9月15日（日）※2	2024年 9月26日（木）	【一次手続】 2024年 12月5日（木） 【最終手続】 2025年 3月13日（木）
	二次	2024年 11月12日（火） ～ 11月19日（火）		2025年 1月6日（月） ～ 1月14日（火）	2025年 1月25日（土）	2025年 2月6日（木）	【一次手続】 2025年 2月13日（木） 【最終手続】 2025年 3月13日（木）
社会人 特別選考		2024年 11月12日（火） ～ 11月19日（火）	/	2025年 1月6日（月） ～ 1月14日（火）	2025年 1月25日（土）	2025年 2月6日（木）	【一次手続】 2025年 2月13日（木） 【最終手続】 2025年 3月13日（木）

※1 本学への出願希望者で海外の大学・大学院を卒業、または海外の大学・大学院に在学している場合はいずれの試験区分で受験する場合も出願資格確認が必要です。

〔⑦出願資格の確認手続〕の試験区分【外国人（または海外の大学出身者）】の提出書類欄（6ページ）を参照してください。

※2 台風などにより試験日に試験が実施できない場合、予備日に試験を行います。試験日に試験ができない場合は、試験当日の8時までに本学ホームページにてその旨を発表します。

4 選 拔 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考
一 般	9:00~10:30	10:45~11:45	12:45~	論文は、志望コースから1問、残り1問は自由選択してください。 ※外国語試験は、外国語辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。
	論 文 (100点)	外国語（英語） (100点)	面 接 (ABCD 評価)	
外 国 人	9:00~10:00	10:15~		日本語論文は、経営学・ものづくりシステムコース、会計学・ファイナンスコースのうち、志望コースの科目について1問選択してください。 ※日本語論文、面接、書類審査により、可否を判定します。 面接時間等については受験票送付の際にご連絡します。
	日 本 語 論 文 (100点)	面 接 (ABCD 評価)		
社 会 人	9:00~10:00	10:15~		①論文は、経営学・ものづくりシステムコース、会計学・ファイナンスコースのうち、志望コースの科目について1問選択してください。 ②「研究計画書」等の書類に基づいた内容・専門知識に関する口述試験。
	論 文 (100点)	口 述 試 験 (ABCD 評価)		
社 会 人 特 別 選 考	12:00~			「研究計画書」等の書類に基づいた内容・専門知識に関する口述試験。
	口 述 試 験 (A B C D 評 価)			

5 試 験 場

試験区分	試 験 場	所 在 地
一 般 外 国 人 社 会 人 社 会 人 特 別 選 考	天白キャンパス 「タワー 7 5」または 「共通講義棟」	名古屋市天白区塩釜口一丁目 5 0 1 番 地

6 出 願 資 格

試験区分	出 願 資 格 条 件
一 般	<p>① (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2025年3月末までに卒業見込みの者。 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2025年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月末までに修了見込みの者。 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月末までに修了見込みの者。 (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2025年3月末までに修了見込みの者。 (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月末までに修了見込みの者。 (7) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたる者。 (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者で、2025年3月末までに22歳に達する者。 (注) 上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。</p>
外 国 人	<p>上記①(1)~(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記②の条件を満たしている者。（上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。</p>
社 会 人	<p>上記①(1)~(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記③のいずれかの条件を満たしている者。 ③ (1) 大学を卒業、または大学院を修了して、社会人として1年以上（入学時現在）の経験を有する者。 (2) 本研究科が特に認めたる者。</p>
社 会 人 特 別 選 考	<p>上記①(1)~(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記④の条件を満たしている者。（上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ④ (1) 社会保険労務士として登録していること。 (2) 4年制大学を卒業した者又はそれと同等以上の能力を有する者。 (3) 社会保険労務士として登録後、2年以上を経過した者。 (4) 全国社会保険労務士会連合会中部地域協議会から推薦された者。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。</p>

7 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人 または 海外の 大学出身者	<p>出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を入学センターへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。</p> <p>〈日本の大学を卒業（見込）した者〉 「提出書類」（1）～（6）は「出願資格確認期間」ではなく「出願期間」に提出してください。</p> <p>（1）入学試験調査票（本学所定の用紙）※「研究計画」は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。</p> <p>（2）最終出身大学の成績証明書</p> <p>（3）最終出身大学の卒業（見込）証明書</p> <p>（4）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。</p> <p>（5）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。</p> <p>（6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （3）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。</p> <p>出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がございましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。</p>
社会人	<p>出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を入学センターへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。</p> <p>（1）入学試験調査票（本学所定の用紙）</p> <p>（2）最終出身大学の成績証明書</p> <p>（3）最終出身大学の卒業証明書</p> <p>（4）最終出身大学院修士課程の成績証明書</p> <p>（5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書</p> <p>（6）就業経験を証明できる書類（様式任意） （注）（1）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（6）」を、併せて提出してください。</p> <p>不明な点がございましたら、入学センターへ問い合わせてください。</p>

8 出願方法

1) 出願書類

試験区分	出願書類
一般	<p>（1）入学志願票（本学所定の用紙）</p> <p>（2）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。</p> <p>（3）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。</p> <p>（4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）</p>
外国人	<p>〈海外の大学出身者〉 出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。</p> <p>〈日本の大学出身者〉 直接、以下の書類を提出してください。</p> <p>（1）入学志願票（本学所定の用紙）</p> <p>（2）出願資格確認通知書（出願資格手続により、出願資格を得られた者に本学から送付します。）「日本の大学を卒業（見込）の者は不要です」</p> <p>（3）私費外国人留学生A奨学生願書</p> <p>（4）授業料の一部納期延期願</p> <p>※日本の大学を卒業（見込）の者については、「出願資格確認手続の提出書類（1）～（6）」を、併せて提出してください。</p> <p>※入学後、2025年6月に2024年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2025年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）17ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。</p>

試験区分	出 願 書 類
社 会 人	<p>(1) 入学志願票 (本学所定の用紙)</p> <p>(2) 研究計画書 (本学所定の用紙) ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。</p> <p>(3) 業績報告書 (その1) (本学所定の用紙) 所属機関の概要 (業種・事業内容) および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等 (経営学に関するもの以外でも構いません) 過去に公表したものがあ場合は、業績報告書 (その2) に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。</p> <p>(4) 出願資格確認通知書 (出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。)</p> <p>(5) 安全保障輸出管理に関する誓約書 (本学所定の用紙)</p> <p>(注) 大学院修士課程修了 (見込) 者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了 (見込) 証明書を提出してください。</p> <p>〈外国人留学生の方は、上記の他に下記の書類を提出してください〉</p> <p>(1) 住民票 (出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。) (注) 窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー (写し) を取ることでこれに代えることができます。</p> <p>(2) 保証人 (学費負担者等) 届書 (本学所定の用紙) (注) 親族以外を保証人 (学費負担者等) とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。</p>
社 会 人 特 別 選 考	<p>(1) 入学志願票 (本学所定の用紙)</p> <p>(2) 最終出身大学の成績証明書</p> <p>(3) 最終出身大学の卒業証明書</p> <p>(4) 研究計画書 (本学所定の用紙)</p> <p>(5) 安全保障輸出管理に関する誓約書 (本学所定の用紙)</p>

2) 書類提出に際しての注意

- 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください (締切日必着)。

(外国人のみ入学センター窓口持参可)

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
(提出先) 名城大学入学センター

9) その他

学費については16ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項 (21ページ) を参照してください。

10) 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学 入学センター/国際化推進センター
TEL (052) 832-1151 (代)

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8:50 ~ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

経営学研究科 博士後期課程

1 募集人員

研究科	専攻	募集人員
経営学研究科	経営学専攻	3名

2 募集専攻・研究指導科目

研究科	専攻	研究指導科目
経営学研究科	経営学専攻	経営学研究指導Ⅰ～Ⅲ、会計学研究指導Ⅰ～Ⅲ、経営財務論研究指導Ⅰ～Ⅲ

3 募集日程一覧

試験区分	出願資格確認期間（締切日必着）		出願期間 （締切日必着）	試験日	合格発表	手続締切日 （締切日必着）
	海外の大学出身者※1	社会人				
一般	2024年 11月29日（金） 12月6日（金）		2025年 1月20日（月） 1月27日（月）	2025年 2月21日（金）	2025年 3月3日（月）	【一括手続】 2025年 3月13日（木）
外国人 社会人	2024年 11月29日（金） 12月6日（金）		2025年 1月20日（月） 1月27日（月）	2025年 2月21日（金）	2025年 3月3日（月）	【一括手続】 2025年 3月13日（木）

※1 本学への出願希望者で海外の大学・大学院を卒業、または海外の大学・大学院に在学している場合はいずれの試験区分で受験する場合も出願資格確認が必要です。

〔⑦出願資格の確認手続〕の試験区分【外国人(または海外の大学出身者)】の提出書類欄（9ページ）を参照してください。

4 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備考
一般	9:00～10:30	10:45～11:45	12:00～	<ul style="list-style-type: none"> 論文は、各人の研究主題に関する基礎科目について筆記試験を行います。 外国語試験は、外国語辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 口述試験は、各人の修士論文を中心に行います。
	論文 (100点)	外国語（英語） (100点)	口述試験 (ABCD評価)	
外国人	9:00～10:30	10:45～11:45	12:00～	<ul style="list-style-type: none"> 論文は、各人の研究主題に関する基礎科目について筆記試験を行います。 外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 口述試験は、各人の修士論文を中心に行います。
	論文 (100点)	外国語（英語） (100点)	口述試験 (ABCD評価)	
社会人	12:00～ 口述試験 (ABCD評価)			各人の研究計画書・修士論文等の出願書類をもとに行います。

5 試験場

試験区分	試験場	所在地
一般 外国人 社会人	天白キャンパス 「タワー75」または 「共通講義棟」	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

6

出願資格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出願資格条件
一般	<p>① (1) 修士の学位または専門職学位を有する者、または2025年3月末までに取得見込みの者。 (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年3月末までに取得見込みの者。 (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年3月末までに取得見込みの者。 (5) 文部科学大臣の指定した者。(平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号) (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年3月末までに24歳に達する者。 (注) 上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。</p>
外国人	<p>上記①(1)~(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記②の条件を満たしている者。(上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。) ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格(留学)を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。</p>
社会人	<p>上記①(1)~(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記③の条件を満たしている者。 ③ 3年以上(入学時現在)の実務経験を有する者。</p>

7

出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人 または 海外の 大学出身者	<p>出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を入学センターへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います(窓口受付可)。</p> <p>〔日本の大学院を卒業(見込)した者〕 「提出書類」(1)~(8)は「出願資格確認期間」ではなく「出願期間」に提出してください。</p> <p>(1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) ※研究計画は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了(見込)証明書 (6) 住民票(出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。) (注) 窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー(写し)を取ることでこれに代えることができます。 (7) 保証人(学費負担者等)届書(本学所定の用紙) (注) 親族以外を保証人(学費負担者等)とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 (8) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙) (注) (1) 日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 (2) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。(例:成績証明書に記載されている科目一覧(語学・体育科目を除く)のシラバス原文および日本語訳等)追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がございましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。</p>
社会人	<p>出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を入学センターへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います(窓口受付可)。</p> <p>(1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了(見込)証明書 (6) 就業経験を証明できる書類(様式任意) (注) (1) 大学院修士課程修了(見込)者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了(見込)証明書を提出してください。 (2) 海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類(1)~(8)」を、併せて提出してください。 不明な点がございましたら、入学センターへ問い合わせてください。</p>

8

出願方法

1) 出願書類

試験区分	出願書類
一般	<p>(1) 入学志願票(本学所定の用紙) (2) 最終出身大学の卒業証明書 (3) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の修了(見込)証明書 (5) 修士論文およびその要旨 (6) 研究計画書(本学所定の用紙) ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (7) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙) 〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。</p>

試験区分	出 願 書 類
外国人	<p>〈海外の大学院出身者〉 出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。</p> <p>〈日本の大学院出身者〉 直接、以下の書類を提出してください。</p> <p>(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 修士論文および修士論文内容要旨 (3) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。）「日本の大学院を修了（見込）の者は不要です。」 (4) 私費外国人留学生A奨学生願書 (5) 授業料の一部納期延期願 (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）</p> <p>〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。</p> <p>不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。</p> <p>※日本の大学院を修了（見込）の者については、「出願資格確認手続の提出書類（1）～（8）」を、併せて提出してください。</p> <p>※入学後、2025年6月に2024年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2025年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）17ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。</p>
社会人	<p>(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。</p> <p>(3) 業績報告書（その1）（本学所定の用紙） 所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等過去に公表したものがあられる場合は、業績報告書（その2）に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。</p> <p>(4) 修士論文またはそれに相当するもの (5) 出願資格確認通知書 (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）</p> <p>〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。</p> <p>〈外国人留学生の方は、上記の他に下記の書類を提出してください〉</p> <p>(1) 住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付の場合は、「在留カード」のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。</p> <p>(2) 保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。</p>

2) 書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（締切日必着）。

（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
（提出先） 名城大学入学センター

9) その他

学費については16ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（21ページ）を参照してください。

10) 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学 入学センター／国際化推進センター
TEL (052) 832-1151 (代)

〔事務取扱時間〕

平日 AM 8:50 ~ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

入学志願票の記入例と注意事項

●入学志願票提出後の記入事項の変更や、記入漏れの場合は一切受け付けられませんので、注意事項を熟読のうえ、間違いのないよう記入してください。なお、出願書類は、早めに簡易書留で郵送してください。

●記入上の注意事項

入学志願票の記入は、薄い赤色の部分に黒色ボールペンを使用して記入してください。訂正する場合は、修正液を使用し書き直してください。

1. A票（入学志願票）

(1) 試験区分は出願する区分の番号を○で囲んでください。

(2) 氏名・現住所欄……正確に記入してください。

○氏名 ・ 戸籍上の氏名を記入し、姓と名の間は 1 マスあけてください。

フリガナ欄は、カタカナで記入してください。

(注) 外国籍の場合は、原則として在留カードの正式名称としますが、通称名（日本名）を使用しても差し支えありません。

○現住所 ・ 住宅名・番号（○棟○号）、アパート名、下宿先、寮名等も必ず記入してください。

(3) 志望専修分野・研究指導科目欄、志望研究指導領域欄は研究科、専攻、課程により異なります。研究科のページで内容を確認して記入してください。

(4) 指導希望教員は事前に専修分野の教員に問い合わせを課す研究科があります。研究科のページで確認してください。

(5) 希望の教員が指導教員とならないことがありますので、ご了承ください。

(6) 受験資格欄

○出身大学名等 ・ 記入例を参照の上、出身大学・大学院名、卒業又は卒業見込・修了又は修了見込年月日等を記入してください。

○設置区分 ・ 出身大学・大学院の国・公・私等の該当番号を○で囲んでください。

(7) 社会人記入欄

勤務先名、電話番号、長期履修を希望する場合は、希望履修年数を○で囲んでください。

(8) 試験科目欄

①法学研究科の修士課程および博士後期課程は外国語科目を○で選択してください。

②農学研究科、都市情報学研究科および人間学研究科の修士課程は専門科目の科目名を記入してください。

※法学研究科は別紙を参照ください。

2. 出願用封筒

出願用封筒は、入学志願票提出以外には使用しないでください。

記載に際して不明な点は、入学センター TEL (052) 838-2018（ダイヤルイン）に問い合わせてください。

〈記入例〉

【入学志願票記入例】

* 出身大学の設置区分の番号を○で囲んでください。

2025 年度		名城大学大学院 入学志願票				A 受験番号※	
試験区分	1 推薦(特別)	2 一般	3 外国人	4 社会人			
氏名	フリガナ	メイシロウ ヨウタク			性別	生年月日	
	漢字	名城 太郎			男 女	西暦年	月 日
志望研究科・専攻	理工学 研究科 機械工学 専攻			修士(博士前期)課程 博士後期課程 博士課程(4年制)			
志望専修分野	熱・流体			第一志望 第二志望(法学研究科)			
研究指導科目(コース)							
指導希望教員(予定)	名城 一郎						
受験資格	設置区分	2024 年 3 月					
	1 国立	名城 大学					
	2 公立	理工 学部					
	3 私立	機械工 学科					
	4 外国	卒業見込					
	5 他国						
	6 本学						
設置区分	年 月						
1 国立	大学大学院						
2 公立	研究科						
3 私立	修士(博士前期)課程						
4 外国	修了見込						
5 他国							
6 その他							
7 本学							
本学記入欄	※設置コード		※施設コード				
フリガナ	ナゴヤシ テンパ77XXXX						
現住所(連絡先)	〒468-XXXX 名古屋市中区白区 XXXX 2丁目1701番地						
TEL	052 (XXXX) - XXXX						
携帯	090 (XXXX) - XXXX						
試験科目			勤務先(社会人のみ記入してください。)				
外国語(法学研究科) (○を付けてください。)	専門科目 修士(博士前期)課程 (農学研究科・都市情報学研究科・人間学研究科) (科目名または分野を記入してください。)			勤務先名			
英語				TEL () - ()			
ドイツ語				希望履修年数			
フランス語				3	3年	6	6年
中国語				4	4年	7	7年
				5	5年	8	8年
<small>⑧ 勤務先は有職者のみ記入してください。 長期履修は社会人学生を対象としています。</small>							
【記入上の注意】 1. 〇の箇所に黒色ボールペンで記入してください。 2. ※欄は記入しないでください。							
個人情報、入試に関わる処理(本学から本人宛での受験票・合否結果の送付等)以外の目的に使用することはありません。							

訂正する場合 修正液を使用し書き直してください。 ※記入は黒色ボールペンを使用してください。

コンビニエンスストア・クレジットカード等での入学検定料払込方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン・イレブン」「デイリーヤマザキ」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」「セイコーマート」、クレジットカード、ネットバンキング、Pay-easy で24 時間いつでも払い込みが可能です。

1 Webで事前登録

サイト内の「大学院入試 入学検定料支払い申込」で必要事項を登録し、支払い方法を選択。



<https://prod.shutsugan.ucaro.jp/meijo-u/top>

本学HPからもアクセスできます！



2 お支払い

コンビニエンスストア

現金での支払いとなります。1 回の出願につき30万円以上の支払いはできません。
(支払手順)

※下記画面は変更される場合があります。

セブン・イレブン	ローソン ミニストップ (Loppi)	ファミリーマート (マルチコピー機)	セイコーマート	デイリーヤマザキ
レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えお支払ください。	各種サービスメニュー 各種代金・インターネット受付・スマートビットのお支払い	代金支払い (コンビニでお支払い)	レジで店員に「インターネットの支払い」と伝える	レジで店員に「オンライン決済」と伝える
※プリントしなかった場合は、番号を伝えるのみでOKです。	各種代金お支払い	番号入力画面に進む	「オンライン決済番号」を入力	
マルチコピー機は使用しません	マルチペイメントサービス	「お客様番号」を入力		
	「お客様番号」を入力	「確認番号」を入力	レジにて入学検定料を現金にて支払う	
	「確認番号」を入力	同意して利用する		
	出願情報が正しければ「確認」「印刷」ボタンを押す 端末より申込券が出るので30分以内にレジにて入学検定料を現金にて支払う			

金融機関ATM [Pay-easy]

以下の支払い可能金融機関でPay-easyマークの付いているATMで支払うことができます。1 回の出願につき、現金では10万円未満、キャッシュカードでは100万円未満の支払いが可能です。

(利用可能な金融機関の一例)

・ゆうちょ銀行 ・三菱UFJ銀行 ・みずほ銀行 ・三井住友銀行 ・りそな銀行/埼玉りそな銀行

■以下URLより利用可能な金融機関をご確認ください。

<https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list.html>



支払手順

「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択



「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を入力



現金またはキャッシュカードを選択して、入学検定料を支払う

ネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申し込みが必要です。

また、楽天銀行、auじぶん銀行、PayPay銀行、住信SBIネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。



支払手順

登録完了画面を開く



「ネットバンキングでの支払いに進む」ボタンを押す



ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログインする

クレジットカード

以下のロゴマークがあるクレジットカードで支払うことができます。



本人確認のため、クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、出願前にクレジットカードを準備してください。支払い方法は一括払いのみです。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

支払手順

登録完了画面を開く



「クレジットカードでの支払いに進む」ボタンを押す



画面の案内にしたがい、クレジットカードの情報を入力する

入学試験検定料のお支払い時に受け取る領収書(明細書)は大切に保管してください。入金情報はデータで確認いたします。

注意事項

- 出願期間を入学試験要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 一度お支払いされた入学検定料は、店頭やATMでは一切返金できませんのでご注意ください。
- クレジットカード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 「入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニエンスストア店頭ではお答えできません。
- コンビニエンスストアや金融機関のATM端末操作方法は変更になる場合があります。

上記お支払い方法をご利用の際は事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

受験ポータルサイト「UCARO」受験票の取得・印刷方法

▶受験票について

受験票は大学から郵送いたしません。

ポータルサイト「UCARO」よりダウンロードして印刷し、試験日に持参してください。

「UCARO」は検定料支払い時に登録したサイトです。



<https://www.ucaro.net/>

▶受験票の取得

受験票の取得は試験日の3日前より可能です。

受験票には試験地、試験会場、集合時間の案内があります。必ず確認してください。

①登録したメールアドレスとパスワードでログインし、メニューから受験一覧をクリック



②メニューにある「受験票・受験番号照会」をクリックする。



③「受験票を印刷する」ボタンをクリックし、ダウンロードします。各自で印刷して試験当日に持参してください。



※画像はイメージです。
実際の画面とは異なる場合があります。

UCAROの操作方法 問い合わせ先
UCAROヘルプデスク **03-6634-6494**
10:00~18:00 (12/30~1/3除く)

受験ポータルサイト「UCARO」 合否照会・入学手続

▶合否照会

合否結果は合格発表日当日10:00 から、ポータルサイトUCAROで発表します。
「UCARO」は検定料支払い時に登録したサイトです。



<https://www.ucaro.net/>

①登録したメールアドレスとパスワードでログインし、メニューから受験一覧をクリック



②確認したい受験番号をクリックし、「合否照会」を選択



▶入学手続

入学手続きは合否照会画面より入学手続要項・UCARO操作マニュアル・振込用紙を入手し、期限までに入学手続きを完了してください。合格通知書や振込用紙は郵送いたしませんのでご注意ください。



入学手続要項
UCARO 操作マニュアル 等

合格通知書
振込用紙

※画像はイメージです。
実際の画面とは異なる場合があります。

学 費

■修士(博士前期)課程

(参考) 2024年度入学者学費一覧表

(単位: 円)

学 年	納 入 期 限		学 費	経 営 学 研 究 科
1 年 次	入学手続時	入学手続締切日	入 学 金	130,000
			授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
	小 計			435,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
小 計			305,000	
年 額 合 計			740,000	
2 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
			小 計	305,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
			小 計	305,000
年 額 合 計			610,000	
2 年 間 合 計			1,350,000	

■博士後期課程

(参考) 2024年度入学者学費一覧表

(単位: 円)

学 年	納 入 期 限		学 費	経 営 学 研 究 科
1 年 次	入学手続時	入学手続締切日	入 学 金	130,000
			授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
	小 計			435,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
小 計			305,000	
年 額 合 計			740,000	
2 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
			小 計	305,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
			小 計	305,000
年 額 合 計			610,000	

学 年	納 入 期 限		学 費	経 営 学 研 究 科
3 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
			小 計	305,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000
			実 験 実 習 費	—
			施 設 費	40,000
			小 計	305,000
年 額 合 計				610,000
3 年 間 合 計				1,960,000

- (注) 1. 入学手続金は、「入学金」と「授業料等（授業料、実験実習費、施設費）の前期分」を合計した額です。
 2. 学費は、毎年度、前期・後期の学期ごとに納めてください。
 3. 新入学生の後期分学費振込依頼書は、7月末までに送付します。
 4. 2年目以降の学費振込依頼書は、4月上旬に前期分・後期分を年に1回まとめて送付します。
 5. 学費は変更になる場合がありますので、「入学手続要項」で確認してください。

■外国人留学生の学費について

下記の条件を満たし、私費外国人留学生A奨学生として認められた人は、授業料の10分の3が奨学金として支給されます。

〔資格〕

- ① 在留資格が「留学」の私費外国人留学生で、経済的に就学が困難であると認められる者

〔選考の要件〕

- ① 1ヶ月の収入額が授業料等相当額を控除後9万円以下で、授業料等の軽減を要すると認められる者
 ② 入学から通算して修業年限を超えない者
 ③ 2年次の修士（博士前期）課程の大学院生は、前年度の修得単位数が10単位以上である者
 ④ 2年次以上の博士（博士後期）課程の大学院生は、研究継続意思があり研究の進捗が確認できる者

※入学後、2025年6月に2024年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2025年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）

所得証明書は〔選考の要件〕①『1ヶ月の収入額が授業料等相当額を控除後9万円以下で、授業料等の軽減を要すると認められる者』に該当するかを審査する資料として使用します。所得証明書は年度毎に提出が必要です。私費外国人留学生A奨学生の選考の要件を満たしていないことが入学後に確認された場合は、後日差額分を徴収します。

■長期履修学生制度について

社会人を対象に、修業年限を超えて在学でき、学費の負担が軽減される制度があります。

詳細は、18～20ページを参照してください。

「長期履修学生制度」について《社会人対象》

「長期履修学生制度」とは、職業等に従事しながら学習を希望する社会人の学習機会を一層拡大する観点から、個人の事情に応じて柔軟に修業年限を超えて履修を行い、所定の単位修得等の要件を満たして修了することにより、学位取得が可能となる弾力的な制度です。

この制度は、社会人入学試験を受験する者のうち、修業年限を超えて在学することを予定し、本大学が正規学生（以下「長期履修学生」という）として認めた上で入学する者を対象としています。

職業、勤務時間等の関係で通常の修業年限で修了できない社会人学生にとっては、本制度を利用した場合、利用せずに留年した場合と比べ、学費の経済的負担が軽減されます。

※社会人学生とは、在学中継続して勤務する学生をいいます（主婦を含む）。

1 対象者

社会人入学試験を受験する者のうち、職業、勤務時間等の制約により、通常の修業年限 [修士（博士前期）課程：2年、博士後期課程：3年、博士課程（4年制）：4年] を超える履修を希望する者。

（実施研究科）

修士（博士前期）課程：法学研究科、経営学研究科、経済学研究科、人間学研究科、理工学研究科、農学研究科、総合学術研究科、都市情報学研究科

博士後期課程：法学研究科、経営学研究科、経済学研究科、理工学研究科、農学研究科、総合学術研究科、都市情報学研究科

博士課程：薬学研究科

2 在学年限および年間修得単位数

長期履修学生が在学できる最長年限は修士（博士前期）課程「4年」、博士後期課程「6年」、博士課程（4年制）「8年」とし、各学年において履修・修得できる単位数の制限は、通常の修業年限の学生と同様です。なお、学年進行中、事情により、当初の履修計画年数を短縮することができます。

※上記年限を超えて在学はできませんので、ご注意ください。

3 申請手続

「長期履修学生制度」の利用を希望する場合は、出願時に「長期履修学生制度申請書」（巻末に綴り込み）を提出してください。

※入学後に「長期履修学生制度」の申請を行うことはできませんので、ご注意ください。

4 注意事項

長期履修学生は、事情により、当初の履修計画年数を短縮することができますが、その場合学費総額の差額が生じるため、修了確定後、1週間程度の間差額分の支払いが必要となります。

5 問い合わせ先

入学センター TEL (052) 838-2018

長期履修学生学費一覧表《修士（博士前期）課程・社会人》

〔参考〕2024年度入学者学費一覧表

(単位：円)

学 年	納 入 期 限		学 費	経 営 学 研 究 科	
				3 年 修 了	4 年 修 了
1 年 次	入学手続時	入学手続締切日	入 学 金	130,000	130,000
			授 業 料	190,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—
			施 設 費	30,000	25,000
			小 計	350,000	307,500
	後 期	10月10日	授 業 料	190,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—
			施 設 費	30,000	25,000
			小 計	220,000	177,500
			年 額 合 計	570,000	485,000
2 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	190,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—
			施 設 費	30,000	25,000
			小 計	220,000	177,500
	後 期	10月10日	授 業 料	190,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—
			施 設 費	30,000	25,000
			小 計	220,000	177,500
	年 額 合 計	440,000	355,000		
	3 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	190,000
実 験 実 習 費				—	—
施 設 費				30,000	25,000
小 計				220,000	177,500
後 期		10月10日	授 業 料	190,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—
			施 設 費	30,000	25,000
			小 計	220,000	177,500
年 額 合 計		440,000	355,000		
4 年 次		前 期	5月10日	授 業 料	
	実 験 実 習 費				—
	施 設 費				25,000
	小 計				177,500
	後 期	10月10日	授 業 料		152,500
			実 験 実 習 費		—
			施 設 費		25,000
			小 計		177,500
	年 額 合 計		355,000		
	合 計		1,450,000	1,550,000	

(注) 1. 留年した場合は、最終学年の授業料等相当額を納入してください。
 2. 在学期間を短縮した場合は、短縮した年数の学費総額との差額を納入してください。

長期履修学生学費一覧表《博士（博士後期）課程・社会人》

〔参考〕2024年度入学者学費一覧表

(単位：円)

学 年	納 入 期 限		学 費	經 営 学 研 究 科		
				4年修了	5年修了	6年修了
1 年 次	入学手続時	入学手続締切日	入 学 金	130,000	130,000	130,000
			授 業 料	208,500	175,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—	—
			施 設 費	32,500	28,000	25,000
	小 計			371,000	333,000	307,500
	後 期	10月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—	—
			施 設 費	32,500	28,000	25,000
			小 計	241,000	203,000	177,500
	年 額 合 計			612,000	536,000	485,000
2 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—	—
			施 設 費	32,500	28,000	25,000
			小 計	241,000	203,000	177,500
	後 期	10月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—	—
			施 設 費	32,500	28,000	25,000
			小 計	241,000	203,000	177,500
	年 額 合 計			482,000	406,000	355,000
	3 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	208,500	175,000
実 験 実 習 費				—	—	—
施 設 費				32,500	28,000	25,000
小 計				241,000	203,000	177,500
後 期		10月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—	—
			施 設 費	32,500	28,000	25,000
			小 計	241,000	203,000	177,500
年 額 合 計			482,000	406,000	355,000	
4 年 次		前 期	5月10日	授 業 料	208,500	175,000
	実 験 実 習 費			—	—	—
	施 設 費			32,500	28,000	25,000
	小 計			241,000	203,000	177,500
	後 期	10月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500
			実 験 実 習 費	—	—	—
			施 設 費	32,500	28,000	25,000
			小 計	241,000	203,000	177,500
	年 額 合 計			482,000	406,000	355,000
	5 年 次	前 期	5月10日	授 業 料		175,000
実 験 実 習 費					—	—
施 設 費					28,000	25,000
小 計					203,000	177,500
後 期		10月10日	授 業 料		175,000	152,500
			実 験 実 習 費		—	—
			施 設 費		28,000	25,000
			小 計		203,000	177,500
年 額 合 計				406,000	355,000	
6 年 次		前 期	5月10日	授 業 料		
	実 験 実 習 費					—
	施 設 費					25,000
	小 計					177,500
	後 期	10月10日	授 業 料			152,500
			実 験 実 習 費			—
			施 設 費			25,000
			小 計			177,500
	年 額 合 計					355,000
	合 計			2,058,000	2,160,000	2,260,000

(注) 1. 留年した場合は、最終学年の授業料等相当額を納入してください。
 2. 在学期間を短縮した場合は、短縮した年数の学費総額との差額を納入してください。

共 通 事 項

1 入学検定料

35,000円

●コンビニエンスストア・Pay-easy で払い込む場合

「セブン・イレブン」「デイリーヤマザキ」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」「セイコーマート」「Pay-easy」で、24時間いつでも払込みが可能です。13ページの「コンビニエンスストア・クレジットカード等での入学検定料払込方法」に従って払い込んでください。

●クレジットカード・ネットバンキングで払い込む場合

「VISA」「MasterCard」「JCB」「AMERICAN EXPRESS」「Diners Club」の各クレジットカードや各ネットバンキングで24時間いつでも払込みが可能です。

13ページの「コンビニエンスストア・クレジットカード等での入学検定料払込方法」に従って払い込んでください。

※入学検定料を返還できるのは、検定料を払い込んだが出願（郵送）しなかった場合、または誤って検定料を多く払い込みすぎた場合のみです。出願書類提出後、受験を取りやめる、または当日欠席した場合は対象となりません。

返還手続き締切日：2025年3月末日

問い合わせ先：名城大学入学センター（TEL（052）838-2018（ダイヤルイン））

2 受験票

受験票は、試験日の3日前よりUCAROに表示されます。

確認方法については14ページの「受験ポータルサイト「UCARO」受験票」をご覧ください。UCAROからダウンロードして印刷し、試験日に持参してください。

3 合格発表

(1) 受験ポータルサイト「UCARO」にて、合格発表日の10:00から合否結果を発表します。確認方法については15ページの「受験ポータルサイト「UCARO」合否照会・入学手続」をご覧ください。

(2) 合格発表に関する電話等の問い合わせには、一切応じません。

4 入学手続

1. 入学手続

入学手続とは、入学金・授業料等を納入し、入学手続書類を提出することです。

期限までに入学手続が完了しない場合は入学資格を失います。

また、一旦納入された入学金および手続書類は、理由を問わず返還しません。

2. 入学手続金

入学手続金とは、「入学金」と「1年次の授業料等（授業料、実験実習費、施設費）の前期分」を合計した額です。**納入された「入学金」は理由を問わず返還しません。**

入学年度の前期（4月から9月）に休学または退学する場合、入学手続時に納入済みの前期分授業料等（授業料、実験実習費、施設費）は本学規定により返還しません。

※本学卒業生が大学院に入学する場合、特別奨学金として入学金が返還される制度があります。（詳細は23ページを参照してください。）

5 個人情報取り扱いについて

出願及び入学手続にあたって提出いただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験実施（出願処理・試験実施）、②合格発表、③入学手続、④関連団体から合格者へ保険や情報機器等の紹介に関する案内送付、ならびにこれらに付随する事項を行うためのみ利用します。

6 成績開示について

本学では、入学試験において、本人から希望があった場合に限り成績開示を行います。本人確認は受験票（原本）を添付していただきますので、大切に保管してください。なお、成績開示請求方法・内容については、ホームページ（<https://www.meijo-u.ac.jp>）に掲載していきます。

（注）秋季入学については、今年度は開示を行いません。

7 安全保障輸出管理について

本学では「外国為替及び外国貿易法(外為法)」を遵守するため、「名城大学安全保障輸出管理規程」等を定め、大学に所属する全ての構成員に対して厳格な審査を実施しています。外為法の規制事項に該当する場合は、入学した後においても、希望する教育や研究指導が受けられない場合がありますので、注意してください。
《経済産業省ウェブサイト》 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

8 その他

定員を満たさない場合は、追加募集を実施する場合があります。実施する場合は、ホームページに掲載します。

9 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学 入学センター／国際化推進センター
TEL (052) 832-1151 (代)
〔事務取扱時間〕
平日 AM 8:50 ~ PM 5:20
※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。
※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

受験時の注意

- (1) 遅刻は原則認めません。
- (2) 試験室では、受験票を毎時限、机上に貼付してある受験番号の手前に置いてください。
- (3) 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。
- (4) 試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。
- (5) 監督者の指示に従わない場合は、不正行為とすることがあります。
その他の不正行為に該当する行為等の詳細は HP (<http://www.meijo-u.ac.jp/admissions/examination/attention/knowledge.html>) をご確認ください。

障がい等のある志願者の方へ

障がい等のある方が受験上の配慮を希望する場合は、入学センターまで問い合わせてください。

奨 学 生 制 度

1 名城大学学内奨学生制度【給付】

奨学生制度には、人物や学業成績優秀者が対象のもの、経済的に困難な学生が対象のもの等があり、選考のうえ決定されます。なお詳細は、本学ウェブサイト (<https://www.meijo-u.ac.jp/campus/support/index.html>) を参照ください。

■名城大学学内奨学生

※今後、事情により変更する場合がありますので、ご了承ください。

1. 学業優秀奨学生

名 称	対 象 者	人 数 ・ 給 付 額
大学院学業優秀奨学生	大学院生で、学業成績および人物優秀者。	90名、年額一律30万円

2. 修学援助奨学生

名 称	対 象 者	人 数 ・ 給 付 額
修学援助 B 奨学生	主たる家計支持者(学資負担者)の死亡、疾病、失業(自己都合を除く)、または、火災、風水害等の被害により家計が急変し、修学の意思があるにもかかわらず経済的に著しく困難となった者。	該当する者全員、年額一律30万円
利子補給奨学生	経済的な理由により、本学と提携する銀行(三菱UFJ銀行)の教育ローンを利用した者。最短修業年限に相当する年数を限度として給付。	当該年度までの学費を限度とする借入額の支払利子に、教育ローン利用者の年収に応じた給付率(50%または100%)を乗じた額
大規模自然災害経済支援奨学生	災害救助法が適用された(または外務省による国際緊急援助が行われた)大規模自然災害により家計が急変し、修学が困難になった学生および入学試験出願者。※希望者は出願前までに入学センターへお問い合わせください。	該当する者全員、授業料・実験実習費・施設費の年額、または1/2の額(被災状況による)。入学試験出願者は、入学検定料、入学金の全額も給付する。

3. 特別奨学生

名 称	対 象 者	人 数 ・ 給 付 額
大学院奨学生	各研究科の基準による。	各研究科の基準による。
本学卒業等補助奨学生	①本学卒で研究科、他の学部へ入学する者。 ②本学に籍を置いた者で退学の後、再度入学する者。	該当する者全員、入学金の額
校友会奨学生	人物優秀者で学業成績または体育技能優秀者。	校友会の指定する人数、額
赤崎勇賞	大学院博士後期課程又は博士課程在学生のうち、教育研究活動等に関する業績が特に優れている者(理工学研究科においては博士前期課程又は修士課程も含める。)	各年度5名(理工学研究科から4名+理工学研究科を含む全研究科から1名)一律20万円
日本学術振興会特別研究員奨学生	日本学術振興会特別研究員(DC1、DC2)に採用された者。	該当する者全員 授業料・実験実習費・施設費の額
海外英語研修派遣支援 A 奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラム又は学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者で、学部等の国際委員会が実施する選考により採用された者。	毎年180名以内。 20万円または研修費用総額の1/2のいずれか少ない額。
海外英語研修派遣支援 B 奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラム又は学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者。	該当する者全員、5万円
アジア大学教員学位取得支援奨学生	アジアの大学教員または大学と雇用契約を結ぶ研究助手(RA)で博士の学位取得後に大学教員となる見込みの高い者。ただし、入学時に修士の学位を有しており、本大学の博士後期課程への入学が認められていること。	毎年2名以内、在籍者全員で6名以内、入学金、授業料、実験実習費および施設費の額

4. 私費外国人留学生 A 奨学生

外国人留学生(「留学」の在留資格を持つ外国籍学生)が対象です。詳しくは17ページ「外国人留学生の学費について」を参照ください。

2 日本学生支援機構(JASSO)奨学生【貸与】

「第一種奨学金(無利子)」と「第二種奨学金(有利子)」があります。人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難である学生を対象に奨学金が貸与されます。募集は4月上旬に行います。初回振込は6月になります。

大 学 院	第一種奨学金 ※1 (無利子)	修士・博士前期課程 ※2	月 額	50,000円、88,000円 から選択
		博士後期課程	月 額	80,000円、122,000円 から選択
	第二種奨学金 (有利子)		月 額	5万円、8万円、10万円、13万円、 15万円から選択

(2024年度現在)

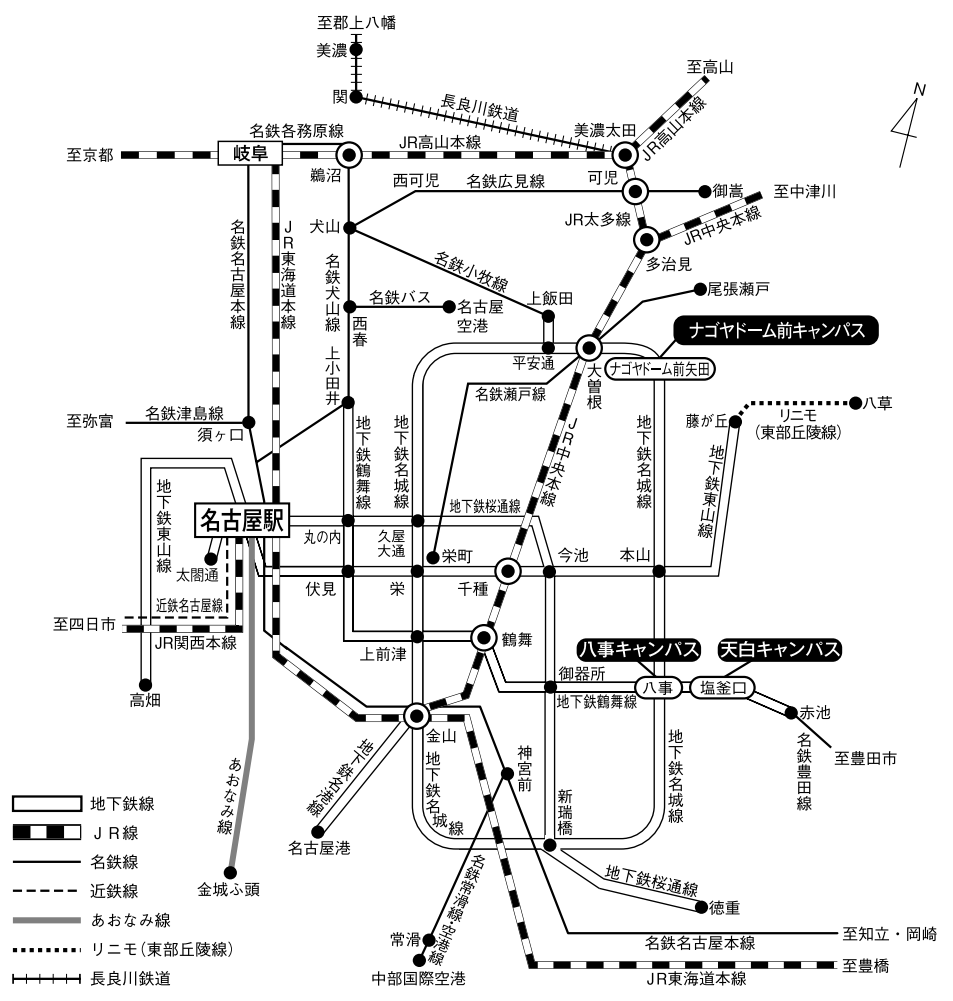
※1: 学部の時に JASSO の給付奨学金の支給を受けていた人が、大学院修士課程・博士前期課程に進学を希望し、かつ第一種貸与奨学金の利用を考えている場合に、業績優秀による返還免除内定候補者として申請できる制度がございます。詳細については、学務センター生活支援グループにお問い合わせください。

※2: 令和6年度秋季より予定している「大学院(修士・博士前期課程)の授業料後払い制度」については、詳細が確定次第ホームページに掲載いたします。

3 都道府県・市町村・民間奨学団体奨学生

各団体から本学に募集があり次第、掲示板でお知らせします。募集は主に4月~5月です。大学を通さず直接募集をしている場合もあります。

大学所在地略図



天白キャンパス (大学本部、法学研究科、経営学研究科、経済学研究科、理工学研究科、農学研究科、総合学術研究科)

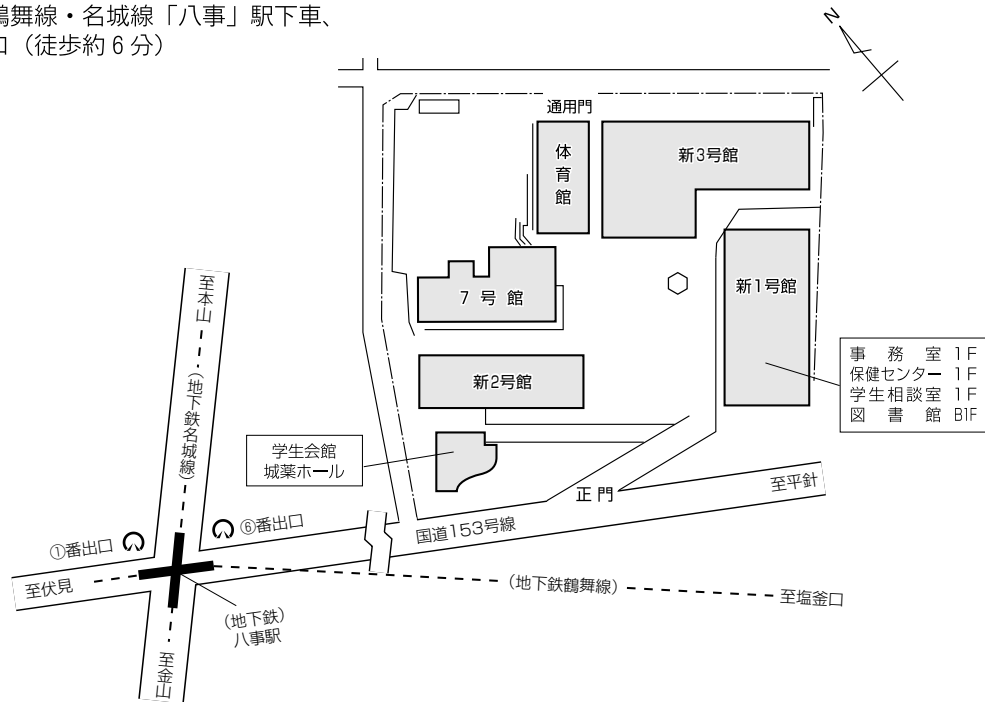
- 天白キャンパス交通案内
- 地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅下車、
- ①番出口 (徒歩約4分)



八事キャンパス (薬学研究科)

■ 八事キャンパス交通案内

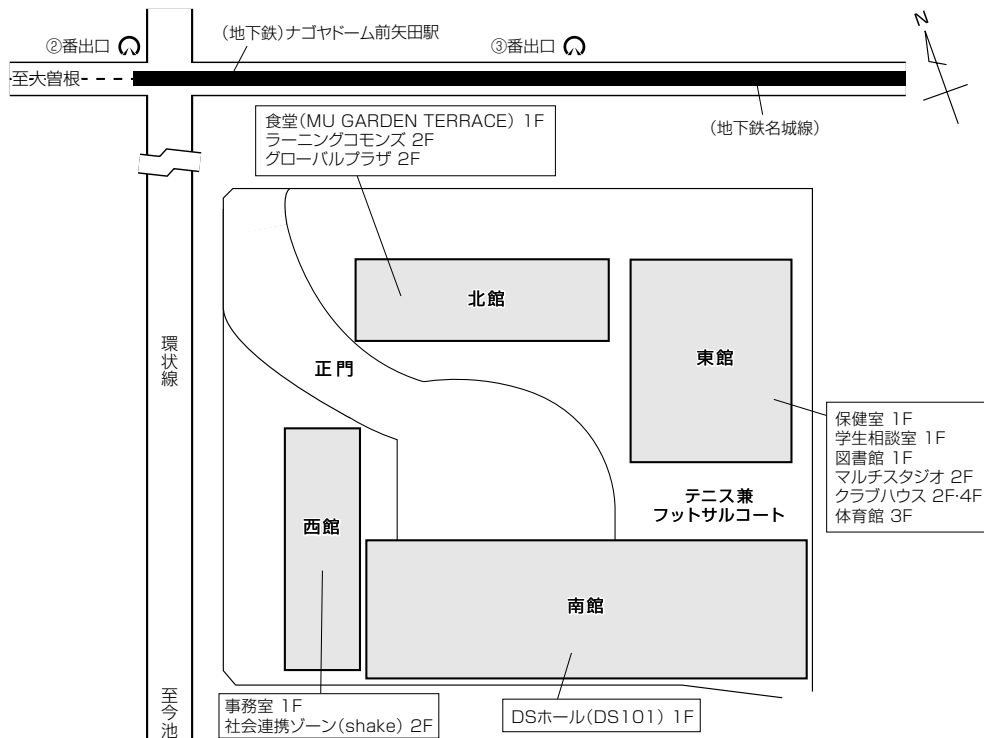
地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅下車、
⑥番出口 (徒歩約6分)



ナゴヤドーム前キャンパス (人間学研究科, 都市情報学研究科)

■ ナゴヤドーム前キャンパス交通案内

JR中央本線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅下車徒歩10分
地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車徒歩3分
ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅下車徒歩5分



長期履修学生制度申請書

※出願時に提出してください。

研究科	専攻 修士(博士前期)課程 博士後期課程 博士課程(4年制)		
受験番号	※大学にて記入します	氏 名	
専修分野		修了予定年	年
長期履修学生制度の適用を必要とする理由			

■問い合わせ先

名城大学入学センター

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
TEL 052-838-2018 (ダイヤルイン) (受付時間：平日 9:00～17:00)
E-mail: nyugaku@ccml.meijo-u.ac.jp